



市議会議員 つつ木みゆき



### 3月議会 一般質問

実現しよう!

## 海老名市の給食を 有機給食に!

今農薬や化学肥料を使わない有機米や有機野菜を使った給食を食べさせたいという保護者が増えており、全国の自治体で学校給食を有機化する取り組みが始まっています。アレルギー体質や発達障がいの子どもの数が増えている原因の一つとして、農薬成分のネオニコチノイドやグリホサートが考えられるとの指摘もあります。農薬を使わないことに踏み切らないと、子どもの安全は保てないという保護者達の思いからの給食有機化への取り組みといえます。安心安全な給食にするために、地産地消の有機農業を進め学校給食に有機米を提供するように提案しました。

**教育部長答弁** 給食の食材として有機農産物を使用していませんが、国内産であること、遺伝子組み換えでないこと、低農薬であること、鮮度良好であるという小学校物資購入規格に適合した食材を給食に提供している。

**教育長答弁** 有機食材確保の目処が見ついたら有機給食の検討を考えたい。より良い食材の使用について検討していきたい。

千葉県いすみ市では、2013年に有志の農家を含めて3人で有機稲作をはじめ、最初に収穫した4tの有機米を1ヶ月分の学校給食に提供しました。この時の反響が大きく「もっと拡大してほしい」という問い合わせの声が拡がり、現在では年間の学校給食に必要なお米を有機米で提供しています。

現在、海老名市では有機農産物の生産者はいないということです。安心安全な給食をより安全にするためには農薬や化学肥料を使わない有機農産物の食材使用が保護者の期待

### つつ木みゆきの一般質問

に応えるものです。生産者が有機栽培に積極的に取り組めるよう、更なる支援を行うことを要望しました。今後も海老名市に有機給食が実現するように働きかけていきます。



## 健康な5歳から 11歳小児への 新型コロナウイルスワクチンは必要?

5歳から11歳の子どもの接種にあたっては、オミクロン株に対する知見が足りないとして保護者の努力義務にしないことを国は了承しています。健康な子供への接種にはメリットとデメリットを本人と保護者が十分理解し、接種前・接種時・接種後のきめ細やかな対応が必要となります。海老名市としての所見を聞きました。

**保健福祉部長答弁** 任意接種であることから国からのお知らせをよく読み、かかりつけ医とよく相談した上で接種の判断をしてほしい。

5歳から11歳の小児への接種に関して、海老名市では保護者から接種券発送を中止して欲しいという陳情書が出され(否決)、大和市でも接種中止と接種券発送中止の請願書が出されました。接種の判断は最終的には保護者が行います。保護者が不安にならないよう、国のお知らせだけでなく本市としてより丁寧な説明を行うよう要望しました。

基礎疾患のある小児に対しての新型コロナウイルスワクチン接種は必要と思いますが、健康な小児への接種に関しては私個人としては反対です。子どもは免疫力が高く罹っても軽症の場合がほとんどです。大人がしっかりと感染予防をするべきです。

## 市民に寄りそった 予算の使い方を!

予算総額 740億4,000万円 (19億6,600万円、2.7%増)

令和4年度の新規事業として小学生への折り畳み式の児童用防災ヘルメットの貸与や生活困窮者世帯の中学生への学習支援の拡大などは高く評価しますが、海老名駅周辺のイルミネーション事業(昨年の1700万円から800万円増の2500万円)、公共施設附帯駐車場一部有料化に向けての整備費、そして下水道料金の値上げが入っている予算に対しては反対討論をしました。

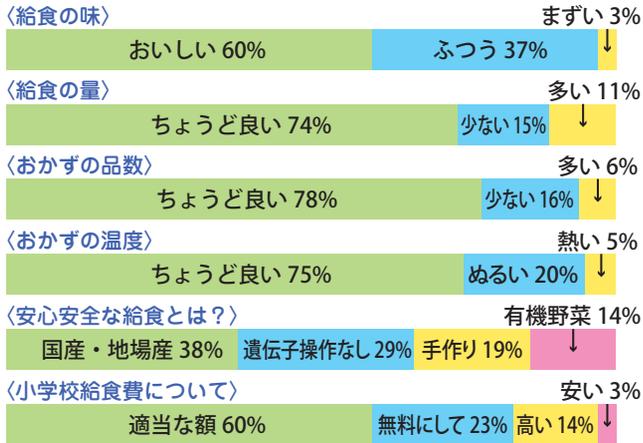
「今はバブル期ではありません。コロナ禍で苦しい生活を余儀なくされている人が大勢います。今こそ個人個人に寄り添った税金の使い方をしなければならないと思います。」



2023年度に市内全中学校において完全給食が始まります。子どもたちに「おいしく、安心安全な給食」が提供できるように、生活クラブ組合員の家族と市内5つの学童クラブの児童生徒・保護者の皆さまにアンケートを実施しました。

(2021年9月実施 回答279)

## 1. 実施されている小学校給食について



## 2. 開始される中学校給食についての意見

- ・働くお母さんも増えておりお弁当作りは大変。中学校給食開始はありがたい。⇒多数
- ・長年の要望だった給食がやっと実施されることは良かった!!⇒多数
- ・安心安全な食材を使った手作りの食事を望みます。
- ・食事の準備や食べる時間を配慮することも大事だと思います。

- ・学校給食の安全性がわからないのでお弁当持参が良いです。
- ・食べる量の個人差が生じる年代なので、給食化はあまり嬉しくありません。

## 市民の力で有機給食に!

子どもたちは給食が大好きです。小学校給食については、概ね満足しているようですし、中学校給食開始についての期待も大きいようです。

「子どもの成長を日本の宝として、国民全員で安心安全な給食を提供する。当たり前のことだと思う。誰もが子どもたちのため喜んで協力するでしょう。」これは、アンケートに書かれていたメッセージです。おいしく安全な食べ物で子どもたちの心身の健康を守るとは大人に課せられた責務と言えます。「安心安全な給食とは?」という問いに「国産・地場産の食材」という答えが多かったですが、国産だから安全とは言えません。日本は単位面積当たりの農薬使用量が世界トップクラスにあります。ネオニコチノイド系農薬などによって、アレルギー体質や発達障がいの子どもが増えている、ハチの減少が見られ30年後にはいなくなり土壌もダメになるという報告があります。それに気づいて世界では、有機農業、自然栽培、生態系や健康を守る動きが広がっています。世界中にオーガニックの波が広がっている今、海老名市が有機給食に向かって舵を切ることが重要です。海老名ネット子ども部会は、有機給食の実現を目指し、様々な活動を展開していきます。皆さまのご協力、よろしくお願いいたします。(子ども部会 猶井)



住民主体の外出支援  
「くるりん号」  
視察

高齢化・核家族化が進み、坂道を上り下りするバス停の利用は辛く、外出しづらいとの声を聞く。高齢者の生活に必要な外出の足をどのように確保したらよいか? 3月に高齢化の進む綾瀬市綾

西地区の住民主体の外出支援「くるりん号」を視察した。

10月から5か月間、国の実証実験に市民団体「綾西みんなの足」が手を挙げた。7人乗り電気ゴルフカート1台を国から借り入れ、運転・乗車介添えを市民団体が担当。週に4日、時速19kmで綾西バザールを発着し、地域内を運賃無料で運行。低速走行は地域内の交流促進や庭を楽しむ自然観察などが生まれ、高齢者の社会活動の場ともなった。しかし、発着地のスーパーマーケットの閉店などがあり、1月末までの利用

者は1日当たり1.2人と少ない。実験終了後は市からワゴン型車両を借り受け、工場見学や買い物などの「お出かけバス」を運行していくとのこと。

綾西に隣接する海老名市国分寺台地区も高齢化が進む。海老名市は「第8期えびな高齢者プラン21」に新規施策として高齢者の外出支援の創出を挙げている。市を超えた両地区の連携で、住民主体の外出支援も考えられる。その人らしく尊厳をもって暮らすことが出来る足の確保について、これからも調査していきたい。(共生部会 西田)

おしらせ  
23th 川歩き

## 永池川リバーウォッチング

永池川川歩きの手配: 伊藤 ☎235-1668  
西田 ☎234-1539

市内を流れる1級河川永池川、ジャブジャブ川に入って、ごみを拾いきれいにしよう!  
川の生物・植物の観察もできます!

日時: 2022年5月1日(土) 9:30~13:00 ☔雨天5月8日(土)

集合場所: 市美化センター(海老名市杉久保北1丁目)

\*バス利用: 相鉄 農大前(ナイロン経由)行、城山下車

参加費: 100円(保険料) 服装: 長ズボン・運動靴(長靴不可: 中に水が入り歩きづらい)

\*低学年以下は保護者同伴をお願いいたします。

編集後記 毎日テレビのニュースを見るたびに心が痛む。破壊されたウクライナの街。隣国に避難せざるを得なかった人々。また、プチャでは400人にも及ぶ民間人が殺害され、遺体で発見された。この中には多くの子供たちもいる。ゼレンスキー大統領が「第二次大戦以降、最も恐ろしい戦争犯罪だ」とロシアを強く非難した。国民が故郷に帰れる日、日常を取り戻せる日はいつ来るのだろうか? (伊藤)

\*生き活きまちづくりレポートはボランティアが配布しています。お手伝いしていただけの方を募集しています。事務所までご連絡ください。